

出会い ふれあい 助け合い

サロンのあべの

VOL.153

ビデオ鑑賞

もののけ姫

サロン・あべの2月の出会い

99年2月20日(土)、育徳コミュニティセンター2階研修室において、サロン・あべの2月の出会いを開催しました。

今回は、一昨年劇場公開されたヒットをした、映画「もののけ姫」をビデオで観賞しました。

宮崎作品

「もののけ姫」は、みやざきはやお宮崎駿さんの監督作品です。

宮崎アニメの世界は、「ルパン三世」に始まり、「風の谷のナウシカ」で一躍脚光を浴びました。その後は、「となりのトトロ」「魔女の宅急便」「平成狸合戦ぽんぽこ」など、話題作、ヒット作を次々と完成させました。この「もののけ姫」も、劇場公開前から話題となり、空前の観客動員を記録しました。

そして、これら宮崎作品に貫かれているものは、近代文明の発展によって失われつつある、

「何か」についてなのです。

自然であり、人間らしい心であり、大きな愛であるかもしれない。しかし、絶対的な答えはないように思います。作品を見て、人それぞれに感じること、それが答えなのです。

ストーリー

神獣であるシシ神が住むという森を舞台に、その森を侵蝕しつつ鉄を作る女とその仲間たち。その鉄を奪おうとする侍たち。

シシ神の首に不老不死の力があると信じ、その首を持ち帰ろうとする帝から命令され、策をめぐらせる男。自らにかけられた呪いの謎を解くために、ふるさとの村を旅立ち、この森にたどり着いた少年、アシタカ。親から見てられた少女、サン。そして、人間を憎むもののけたち。

物語は、人間同士のエゴのぶつかり合いと、その結果として



すみかを奪われつつある、ものけと人間との戦いを描いています。とても美しい映像とは裏腹に、そこには欲望と憎しみにあふれる世界がありました。

物語の終盤、人間とものけとの戦いは最終局面をむかえます。ものけたちは、人間によって壊滅的なダメージを与えられます。人間とものけ、そのどちらの味方でもなく、両者を超越した存在としてのシシ神。しかし、ついにそのシシ神も、首を落とされてしまいます。胴体だけとなってしまったシシ神は、自らの首を求めて暴れ回り、すべてを死へと追いやってしまふかと思われました。それでも最後まであきらめずに首を返そうとする、アシタカとサン。もうこれでおしまいかと思った次の瞬間、奇跡が起こりました。一度死んでしまった山々が緑に包まれていったのです。サンは

これは便利。

贈り物をするときや、本や写真を送るときなどにひとこと添えたい場合、便利なのがこの一筆箋です。

サロンの一筆箋

一冊一〇〇枚綴 ¥一五〇

森に帰ると言い、アシタカもそのそばにとどまることを選び、鉄を作る女のもとで暮らすと言います。

尊重しつつ、共存への道を探る。アシタカとサンは、わたしたち自身かもしれない。

決してハッピーエンドではありませんが、ふたりが、それぞれ元の世界を選んだことには、意味があるように思います。結局、人間とものけ、そのどちらが正しいとか、貴いとかの判断はできない、ということではないでしょうか。ものけに代わられる自然と、それを破壊する人間。そのどちらの存在をも

最後に 時間的な余裕がなく、作品に関する感想を、十分に話し合うことができませんでした。また、ビデオプロジェクターの設置に手間取ったこと。部屋が明る過ぎて、画面がはっきり見えなかったことなど、数々の反省点がありました。ここにおわびいたします。

参加者 27名 (上平幸雄)

消える? 「メダカの学校」

「もののけ姫」のビデオを観終って、そのストーリーの奥深さと転回の速さに何を考えればよいのかとまどってしまいました。

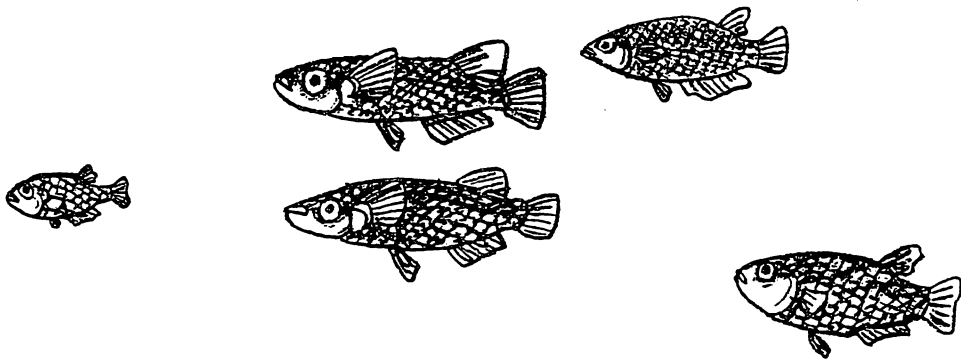
「姫」が守ろうとしたものは何か、あしたか彦が求めていたものは何か……。この二人を取り巻く人々の物欲と自然破壊。どちらの側に立つかによって考えが分かれます。

自然を守るといってもしょせん人の利に添ったものでしかないのではないかと思えます。私の知っている身近な森や山は、四季折々に人が手入れをして木々を育てています。杉苗から育て植林をして、一本の木の成長を見守りながらひとつの美しい山を形作っています。人の手で育てられた山の木も伐採するときは何本かの木を残すと聞かれています。この残された木は山を守る守り神になるそうです。秋に熟す柿の実も最後のいくつかは木の守りに残しておき、野鳥の餌に供されます。自然そのままでは人は生活していけません。開拓、開墾の積み

重ねでよりよい生活を求めてきたのだと思えますが、その代償が自然破壊、環境破壊につながってきたのでしょう。しかし、近年は自然破壊どころか人工自然に衣替えしていくように感じられてなりません。

それで思い出したのですが二月十九日付け朝日新聞に「もうみんなでお遊戯できないの?七六種の淡水・汽水魚類が危機」という見出しで、絶滅の恐れがある七十六種の中に「メダカ」も初めて含まれた……記事が掲載されていました。

「評価の対象となった三百種のうち、四分の一の七十六種が絶滅の恐れがある種とし、ミヤコタナゴ・リュウキュウアユ・イタセインバラ・トカゲハゼなど五十八種を絶滅危惧Ⅰ類。ムツゴロウ・ウツセミカジカ・シンジコハゼなど十八種をⅡ類に分けた。七六種の半分の三十五種がハゼ類だった。これまで普通に生息しているとみられていたメダカ・ホトケドジョウ・エゾホトケドジョウ・カワバタモロコなども絶滅の恐れのある種とされた。メダカは九三年に環境庁が全国を四千地域に分けて調べたうち十二%の約五百地域でしか見つからなかった……」



と。

身近な動植物・魚類が激減していくのは自分の足を削り取られていくようなものかもしれません。童謡で親しまれている「メダカの学校」ももう見ることが難しくなっているでしょう。それらが棲息していた地域はどのように変化しているのでしょうか。絶滅への数字だけではない生活環境も知りたいものです。種の保存だけを求めれば人工の小川にホタルを飛ばすような経過になる気がします。人と自然との共生をどこまでの線引きで考えるか、残された自然の活性化を人がどれだけ手助けできるかなど、いろいろと考えさせられます。「もののけ姫」が現在のありさまを見ればどのような行動に出るでしょうか。

これからはより一層、花を愛で木々を慈しむ人としての心を育てる努力が必要になってくるでしょう。それが自然との関わりを持つ一歩かもしれません。

この日参加された山口先生(サロン紙「植物あれこれ」連載)も「身近なところで植物を育ててください」と言っておられました。

(け)

育てる

「教育」という言葉がある。「教える」ことは生まれてからでもいいが、「育」、つまり「育てる」のは、本来赤ちゃんがお母さんのおなかの中に入っている時に行うものであると言われている。

なぜならば「育」の「宀」は「子」が逆様になった字で、「月」は肉體、いわゆるお母さんのおなかの中を表しているからである。

それではおなかの中の赤ちゃんをどうして育てるかと言えば、たえずお父さんやお母さんが赤ちゃんにやさしい言葉をかけたり、クラシックや童謡などの美しい音楽を聞かせてあげることである。

ところで先日新聞に「子育ての前に親育てを」という、N

晴れのち晴れ

⑥

稲垣 恵雄

さんのこんな投書が載っていた。「現在、小・中学校のPTAなどで、親たちに対して家庭教育学級が開催されている。しかし乳・幼児期の親に対する学習はあまり耳にしない。乳・幼児期の家庭教育に早急に取り組まなければ、入学前では手遅れの感がある。だから『子育ての前に親育て』の時期を逸しないことを望みたい」

前述の如く「育てる」のは生まれてからでは遅すぎるのだが、投書子の指摘されているように現在は「子育ての前に親育て」が必要なかも知れない。そして今の親たちに要望したいのは「教える」ことよりも「育てる」ことに専念してほしいと思う。そうすることによって、今、社会問題になっている少年犯罪も減少していくはずである。

ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きとした生活を送るために—

12

伊藤智佳子

(3) カウンセラーとカウンセリーの役割交代②

VOL. 152でカウンセラーとカウンセリーの役割交代には2つの意味があるように思われるということを記した。その①についてであるが、今までカウンセラー役でカウンセリーの話を聞いていた人がカウンセラー役になったときに、今までカウンセラー役であった人が自分と共通の悩みや問題を抱かえているということを知ることを通して「この人も自分と同じような悩みを抱かえているんだ。自分一人だけが特別な悩みを抱かえていたのではないのだ」という安心感を得る。つまり、役割交代が深い共感につながるということである。

前号(VOL. 152)では、ピア・カウンセリングの特徴のうちの、カウンセラーとカウンセリーの役割交代について若干の整理を試みた。今回は、カウンセラーとカウンセリーの役割交代の具体的な意味づけについて整理する。

【わが国におけるピア・カウンセリングの現状】

3. ピア・カウンセリングの技術

VOL. 152で記した②についてであるが、ピア・カウンセリング講座という構成された場所においてではあるが、今まで援助される側と見なされてきた障害者がカウンセラー役を演じることを通して、相手を思いやる気持ちや相手を抱きしめたくなくなる気持ちなどのような自分が気づかなかつた気持ちに気づくようになる。そして、カ

ウンセラー役を通して学んだ経験を日常生活にも活かすことができ、援助の客体から援助の主体に変わっていくということにつながる。

感謝

カンパ、はがき、ボールペン、お茶菓子
お茶等の寄贈、またサロングッズのお買上げ、ありがとうございました

井上きみ子、黒羽玲子、田村昌子、
富田万里子、中原裕子、宝示愛子、
牧 栄美子、松田峰子、吉原和朗、
和田保子、その他の方々、

好評のエッセイ!

岡知史著

- 知らされない愛について
- ほんの少しの神に近い部分

◎ どちらも 700円

☎ 06・6691・1028 富山まで

★どんな思いで生きているか

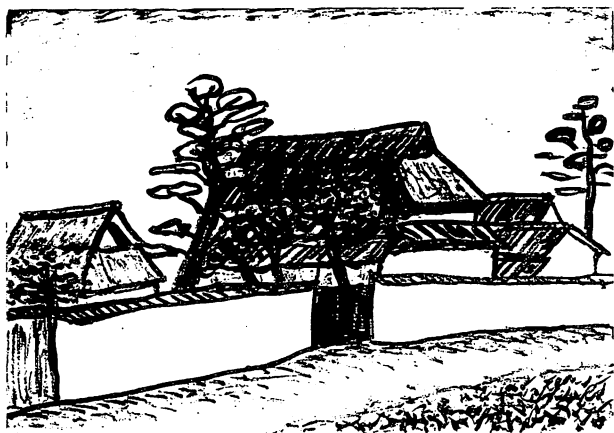
一九九九年の七月は、よく知られた外国の予言者がいう終末の時である。私の学生時代は二十年も昔になるが、すでにこのことを書いた本がベストセラーになっていた。

もしも、それが本当ならあと四ヶ月しかないわけだが、あまりに近すぎるので、いまの私には、まるで実感はない。しかし二十年前は、そうではなかった。石油ショックが、その何年かまえに起き、時代とともに世界が豊かになっていくというイメージは完全に消えていた。連日のように繰り返される公害や冷戦をめぐる報道に、こんなままでは本当に二十年後には世界は終わるかもしれないと少し本気になって心配していた。

そして一九九九年に私になるはずの年齢を計算した。いったい、そのとき自分はどうな生活をしているのだろうか。毎日、満足して暮らしているだろうか。家族には誰がいるのだろうか。両親はどうな

っているのだろうか。死んでも悔いのない生活をしているのだろうか。

現在、どのような思いで生きているか。将来、どのような生きかたをしたいか。



こうしたことは文章に書く機会がある。しかし何十年かあとに自分がどのような思いで生活しているかを考えて書き記したことはない。

あ のとき、つまり二十数年前、二十そこその若者であった私が一九九九年を考えたとき、四十すぎの自分がどのように生活していると思っていたか、書いておけば良かったと思う。そうすれば、いまの自分をまた別の視点から見ることができただろう。

世界の予言ではない。自分についての予言を自分自身のために記しておくのである。五十歳、六十歳、そして幸運に恵まれて七十歳まで生きたとき、私は、どのように朝を迎え、時間をどのように過ごし、眠りにつく前に何を想っているだろうか。

そして、それを基にして、いまの生活を振り返ってみる。そうすれば何かが見えてくるはずだ。いまの私より十年も二十年も長く生きてきた人生経験豊かな「私」自身が、この傍らに立ち、たぶん叱りつけるようにしながら私に多くのことを伝えようとするだろう。(知)

植物あれこれ

第二回

山口康二郎

— 植物は生物?! —

ある私立大学の教授からショッキングな話を聞いた。東京にある文科系の大学の学生は二割ぐらいが、「植物は生物ではない」と思っているというのである。

驚いた私は講義にいらっている和歌山大学の学生にこの質問を試してみた。学生たちはナンセンスな質問という顔をしながら全員が生物であると答えてくれた。

当然といえば当然で和歌山大学は現在山の中腹に移転し、周囲を木に囲まれた自然環境に恵まれた場所にあります。私はしつこく「本当に植物が生物であると実感しているか」と聞くと、首をかしげる学生が三割ほどいた。「自然に親しむ」ということは若者には遠いことばになりかけているのかもしれない。

たしかに植物はオジギソウなどの例外を除いては「動かない」し、摘まれても切ら

れても声も出さない。しかし春先になると古い枝から新しい芽が生長するときのエネルギーは動物に匹敵するといわれる。

根のたくましい活動は舗道を持ち上げる力がある。アスファルト面を突き破ってスギナが生えていることがある。この細胞の圧力は五〜六気圧から十数気圧あるそうだが普通乗用車のタイヤの空気圧は二気圧前後といわれ、そのすごさに驚かされる。正に



驚くべき力を持っている「生物」である。

『障書見指導法』の講義がどんどん横道にそれ本題に入ろうとした時「先生、生物生物といわれますが生物と無生物の根本的な違いは何なんですか」と質問された。さあ困ってしまった。「私は生物学の専門家ではないので、また後日」とごまかしてあわてて本題に戻った。その後、図書館で本さがしをして、ようやく一つの答えを見つけた。

生物というのは三つの働きをもっているものと定義されていた。

一つは外界から必要な物質を取り入れたり不要な物質を捨てたりする生命活動に必要な物質をつくる働きをするもの。

二つ目は一つ目の働きをしながらも生物全体としては安定していて外観も内容もほとんど変化しない機能をもっているもの。

三つ目は、一番重要なこととして自分と同じものをつくり出し子孫を残していくという機能をもっているもの。

この三つのうち、一つでも欠けると生物とは認め難い。——やれやれこれであるの学生に答えられる。——

美智子のこんな話

岸田美智子

し（脳性マヒ、車椅子使用）です。今までお世話になった人たちが、就職などで新しいスタートをするため、ボランティアが不足することになりました。宿泊介護の人を募集します。

ます。交通費は全額支給します。初心者の方大歓迎！
皆さんよろしく申し上げます。

連絡先

○グループホーム「ほんわか」

住所 大阪市住吉区遠里小野3-8-3

電話 06-66694-6322

○ライフ・ネットワーク

(火・土・日・祝日以外11時～18時)

住所 大阪市住吉区大領5-10-16

電話 06-66607-8260

*留守の時は留守番電話にお名前と連絡先をお願いします。

グループホームの宿泊介護のお願い

こちらは住吉区のグループホーム「ほんわか」です。女性2名、男性1名の3人暮

◎介護料は少しですが、出させていただきます。

毎号ハサロン・あべのV紙をりしております。

訃報に接して

お送り下さいまして有り難うございます。体調が悪く引きこも

残念です。ご冥福をお祈りして先生を偲んでおります。

暖かい桃の節句でしたね。この分では春はもうそこまで来ているようです。

りがちの私には「サロン紙」はほんとうに嬉しいです。いつも一気に読ませていただき、あ

も近づいて来ましたし、これからももっともつといろいろとお教えいただきたいと思っております。

杉山 蔦枝



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」4月の出会い

日時；4月18日(日)午後1時30分～午後4時
 場所；「やすらぎ」
 大阪市淀川区三国本町2-14-3
 内容；「足の痛みについて」
 パネラー；古東司朗氏
 整形外科医 古東医院院長
 会費；なし
 問い合わせ先；淀川区社協 ボランティア・ビューロー
 TEL06-6394-2900

■「サロンつるみ」4月の出会い

日時；4月4日(日)午後1:30-4:00
 場所；鶴見会館 [TEL06-6912-3971]
 地下鉄 長堀鶴見緑地線「横堤」5番出口
 内容；「楽しく明るく
 ギターと歌とお話」
 パネラー；鈴木昭二氏
 会費；なし
 問い合わせ先；鶴見区社会福祉協議会
 (ボランティアビューロー・担当=藤井)
 TEL06-6913-7070

■《てくてく・すみよし》4月の出会い

日時；4月8日(木)現地集合午前11時
 内容；造幣局工場見学会
 [地下鉄谷町線天満橋駅下車]
 会費；1300円(昼食費含む)
 申込み締切り；4月5日
 問い合わせ先；
 TEL06-6692-8411 (山本篤江)

■第6回「出会いボランティアサロン」

日時；4月10日(土)午後6時半～
 場所；岸和田市立福祉総合センター
 内容；～ココロのコンサート～
 「友よ かなしみをあたためて
 歩いてゆこう」

パネラー；♥ギター伴奏&オカリナ

加藤圭二氏

参加費；無料

お問い合わせ先；TEL0724-22-0686 阪井健二
(電話は午後7時以降にお願います)

■「サロンいたみ」4月の出会い

日時；4月3日(土)時間未定
 場所；伊丹市昆陽池公園
 内容；お花見
 会費；なし
 申し込みと問い合わせ先；西原(19時以降)
 TEL0727-79-4078

お知らせ

サロン・あべの4月の出会い

日時 4月17日(土) 午後1時～4時
 場所 育徳コミュニティセンター研修室
 (阿倍野区阪南町5-15-28)
 スロープ、車いすトイレ有り)
 テーマ 「車椅子で行く
 おすすめデートスポット」
 -障害者にやさしい街づくりとは?-
 パネラー 童夢KANSAI

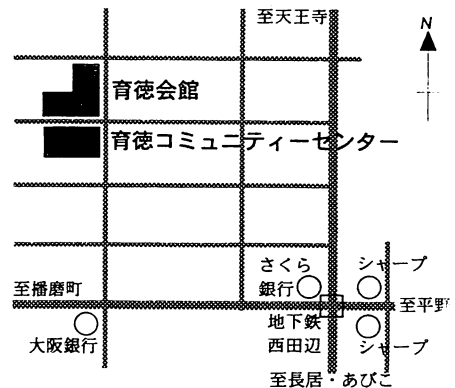
代表 平下耕三

ネットワーク類 坂口登

会費 なし

お申し込み・お問い合わせ先

☎06(6691)1028 (富田慶子)



さきみみずきん

電動車いす

「春の海 ひねもす のたり
 のたりかな」の気分を誘う日差
 しとなつてきました。風は冷た
 くても外へ出るのが楽しみです。
 家々の前の花鉢は色とりどりの
 花があふれるように咲いていま
 す。ガーデニングの言葉が流
 行り出して鉢植えでも同種の草
 花だけでなく寄せ植えの楽しみ
 が感じられます。また、その家
 の雰囲気も花の種類や色でなん
 となく解った気分になります。
 そんな楽しみ方ができるのも
 電動車いすのお陰です。しかし、
 狭い・古いわが家内ではとても
 使えません。松葉杖にかけ声か
 けて動いています。ところが先

日、毎日新聞・情報BOXに「世
 界最小の室内用電動車いす『M
 I Smart』ミサワホームが
 開発」と紹介されていました。
 標準電動車いすより30cm短く、
 半径40cmで回転可能とのこと。
 これはありがたいと値段を見れ
 ば39万なにかし。もう一台、折
 りたたみ式の電動車いすも欲
 しくて以前よりパンフレットを
 ながめているのですが、これも
 絵に描いた餅。快適な生活に必
 要な機種は次々出てきますが、
 「よいしょ、よいしょ」のかけ
 声は当分続きそう。(け)



FROM EDITOR

編集後記

サロンの絵はがき第4集<花だより3>が出来上がりました。ごぶさたのあの方に、出会いの連絡に、カラーになつたサロンの絵はがきをお使ください。そして友人・知人・ご親戚はもちろん、ちょっとだけ顔見知りの人にも、すてきな絵はがきのことどんどん広めてください。辛夷、百合、蘭、柚子、薔薇がセットになって¥180です。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.153[`99. 3.20.発行] 定価¥100.
 代表；上平幸雄〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-6621-4365
 連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-6691-1028
 表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子
 郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスタービル2F ☎06-6719-8212